



人生、いつでも松・竹・梅

新年あけましておめでとうございます。

今年も横地小の玄関に立派な門松を飾っていただきありがとうございました。今年も素晴らしい年になりそうです。本年もよろしく願い致します。

さて、盆栽を趣味にしている父から、私が中学生の時に聞いた話です。慶事（お祝い事）のシンボルとして「松・竹・梅」の3点を組み合わせたものがよく使われます。お正月の門松やお祝いの席での縁起の良いものです。

【松】：常緑樹で冬でも枯れずに姿を保つことから「長寿・延年」を表す。

平安時代からお祝い事の象徴、中国でも長寿の象徴。

【竹】：折れにくく、成長が早いことから「生命力・成長」の象徴。

室町時代より子孫繁栄の象徴。

【梅】：苔が生える程の樹齢でも、早春に先駆けて気高い香り。

花を咲かせることから「気高さや長寿」の象徴。

江戸時代より繁栄・気高さ・長寿の象徴。



「松・竹・梅」が意味する言葉は色々ありますが、中学生の私にも、わかりやすく話してくれた言葉が記憶に残っています。

「いつも緑でいる**松**のようにいつも笑顔で健康に。**竹**のように素直にまっすぐに。寒い時期に花を咲かせる**梅**のように、苦しい時に頑張れる。そんな人でありたいものだ。」と…

桜の花は、マスコミが開花を宣言するほど人々に喜ばれています。満開ともなれば、お花見が行われるほどです。その一方で、梅の花はとても地味なイメージがあり、桜ほど注目されることはない花です。その花が、どうして縁起物として、扱われているのか知りませんでした。

派手でなくていい。脚光をあびなくてもいいから、毎日を健康で楽しく素直に生きることの大切さを伝えているのかもしれない。

人には見えない土の中で、しっかり根を伸ばしていくこと。その根をしっかり伸ばすことが、風雨に耐える丈夫さと栄養を吸収できることを我々に教えてくれているのかもしれない。

子どもたちには、小学校時代のさまざまな体験を通して、しっかり根を伸ばし、これから人生の風雨に負けないたくましい人への基礎を培ってほしいと思っています。

(文責 相田)